

「公立大学法人神戸市看護大学中期目標(案)」に対する市民意見の募集結果について

○意見募集期間 平成30年12月15日(土)～平成31年1月10日(木)

○意見数 9通34件

○意見の概要及び意見に対する市の考え方

※市民意見の概要は、いただいたご意見の主旨を損なわない範囲で要約しています。

番号	市民意見の概要	神戸市の考え方(案)
前文		
1	「新たな社会的ニーズに対応する人材育成と教育研究の拠点づくり」というタイトルは前文に不要ではないか。	現行の記載で問題ないと考えます。
2	「阪神・淡路の大震災」、「阪神・淡路大震災」と表現が混在している。	ご意見を踏まえ、一部修正します。
3	「看護専門職者」、「看護職者」、「看護人材」と表現が混在している。	「看護専門職者」については、専門性の高い看護職者という意味で用いています。 また、「看護職者」は、看護師などの職業に就く者の意味で、「看護人材」は看護に貢献する者の総称の意味で用いています。
4	「少子高齢化の急速な進展」とあるが、高齢化のことしか記載されておらず、少子化の対策も記載すべき。	現行の記載で問題ないと考えます。
5	「団塊の世代が全て後期高齢者となり」の部分で「全て」は強調しすぎではないか。削除しても良いのではないか。	現行の記載で問題ないと考えます。
6	「2042年には高齢者人口がピークを迎える」と予測される中で、変革の時となるこれからの時代、」は前後のつながりが悪いのではないか。	現行の記載で問題ないと考えます。
7	「質の高い教育研究の提供」とあるが、研究の提供とは言わないのではないか。	ご意見を踏まえ、一部修正します。
8	「医療産業都市の取り組みにおいても、市民の健康・福祉の向上を目指し役割を果たしていく必要がある」とされているが、「神戸市看護大学は」という文言を追加し、主体を明確化すべきではないか。	現行の記載で問題ないと考えます。
9	「学術の発展と市民の健康と生活の質の向上に寄与する」は「学術の発展と市民の健康と生活の質の向上に寄与していく」の方がよいのではないか。	現行の記載で問題ないと考えます。

番号	市民意見の概要	神戸市の考え方（案）
10	公立大学法人神戸市看護大学（以下「法人」という）は4段落目にも記載すべき。また、（以下「法人」という。）に改めるべき。	現行の記載で問題ないと考えます。
第2 社会的ニーズに対応した幅広く高い能力を持つ看護人材の育成		
11	社会的ニーズとは何かが見えにくい。	社会的ニーズの内容については、前文及び「1 学部教育」、「2 大学院教育」に記載しております。
12	「幅広く高い能力」は「幅広く、高い能力」に修正すべきではないか。	現行の記載で問題ないと考えます。
第2 社会的ニーズに対応した幅広く高い能力を持つ看護人材の育成		
3 学生への支援		
13	「健康面、経済面等」は「健康面及び経済面等」に修正すべきではないか。	現行の記載で問題ないと考えます。
14	市内就職を推進することは大学ブランドに相反するのではないか。	市内の医療人材の育成・輩出は市が設立団体である大学の当然の責務であり、大学ブランドにつながるものと考えます。
15	学生が主体的に進路を決定することを大学が重視するのであれば、市内就職を大学が推進するのは違和感がある。「市内への就職を推奨しつつ、学生が適切な進路を主体的に決定できるよう就職支援体制の充実を図る。」の表現とすべきではないか。	ご意見を踏まえ、一部修正します。
第3 学術研究、地域貢献活動、国際交流の推進等による大学ブランドの確立		
16	研究、地域貢献、国際交流を「大学ブランドの確立」にまとめず、このテーマどおりに記載すべきではないか。現在のまとめ方では大学ブランドから教育が除外されているように感じられる。大学ブランドの記述は「第4 業務運営及び財務内容の改善」の中の一項目とすべきではないか。	基本的な教育の充実を前提として、研究、地域貢献、国際交流において他大学と差別化を図ることが、大学ブランドの確立につながると思います。
17	教育、研究、地域貢献、国際交流の取り組みは大学の強みとして確立されており、情報発信が少ないことにより、大学ブランドとしてのアピールができていないことから、「神戸市看護大学の強みとして効果的に情報発信していくことで大学ブランドを確立する」と改めるべきではないか。	現行の記載で問題ないと考えます。
18	学術研究、地域貢献活動、国際交流については、これまでの実績があるものと萌芽的なもの	具体的な内容は、今後法人が策定する中期計画のなかで検討すべき課題と考えています。

番号	市民意見の概要	神戸市の考え方（案）
	を区別して記載すべきではないか。	
第3 学術研究、地域貢献活動、国際交流の推進等による大学ブランドの確立		
1 地域課題の解決や健康創造都市戦略等を担う学術研究の推進		
19	神戸医療産業都市のどのような成果を踏まえるのか、イメージが沸かない。	具体的な内容は、今後法人が策定する中期計画のなかで検討すべき課題と考えています。
20	「将来の大学院の重点化」は「将来の大学院の充実(又は活性化)」と修正すべきではないか。	現行の記載で問題ないと考えます。
第3 学術研究、地域貢献活動、国際交流の推進等による大学ブランドの確立		
3 グローバルな視点を培う、国際交流の推進		
21	「キャリアアップ」の表現は「キャリア開発」と修正すべきではないか。また、「国際化が進む保健・医療・福祉分野において、外国人教員の確保や、海外からの留学生の受入を推進する」の表現は保健・医療・福祉分野における外国人教員の確保のように見えるため修正すべきではないか。	ご意見を踏まえ、一部修正します。
22	学生の海外留学の推進について追加すべきではないか。	現行の記載で問題ないと考えます。
第4 業務運営及び財務内容の改善		
1 効率的で機動的な組織運営体制を構築し、地域の発展に貢献する大学へ		
23	新学部設置を含めて、「新しい領域を含めた教育研究組織の拡充等を検討していく」とすべきではないか。	現行の記載で問題ないと考えます。
第4 業務運営及び財務内容の改善		
2 優れた教職員を確保育成し、特性を生かす、人事・組織制度の構築		
24	「特性を生かす、人事・組織制度」を「特性を生かす人事・組織制度」と修正すべきではないか。	現行の記載で問題ないと考えます。
25	「多様な人材の確保」を「優秀かつ多様な人材の確保」とすべきではないか。	現行の記載で問題ないと考えます。
26	広報とIRの専門職員の配置についての内容を入れた方がよいのではないか。	現行の記載で問題ないと考えます。
第4 業務運営及び財務内容の改善		
3 自立した看護基礎教育に必要な施設、設備など、教育環境の整備・充実		
27	「効果的な教育を実施するためのシミュレーション教育やICTの活用」のシミュレーション教育とICTは教育方法で、アクティブラーニングは学生の学びを意味するため、「効果的な教育を実施するためにアクティブラーニングを目指	現行の記載で問題ないと考えます。

番号	市民意見の概要	神戸市の考え方（案）
	して、シミュレーション教育やICTの活用」とすべきではないか。	
第4 業務運営及び財務内容の改善		
4 自己点検・評価による質の改善、情報公開による透明性の確保		
28	現在実施している自己点検・評価は、制度上毎年行う必要がなく、7年ごとの実施に改める予定であり、「毎年の自己点検・評価」の「毎年の」を削除すべきではないか。	現行の記載で問題ないと考えます。
29	「外部評価（大学機関別認証評価・分野別評価）」については、現在実施していない評価もあり、記載が細かすぎるため、カッコ内は削除すべきではないか。	現行の記載で問題ないと考えます。
第4 業務運営及び財務内容の改善		
5 関係者の心身の健康と安全の確保、危機管理体制の整備、ハラスメント行為の防止		
30	タイトルの「関係者の」はあえて記載する必要はないのではないか。	現行の記載で問題ないと考えます。
31	「各種ハラスメント行為の発生の未然防止を図る」を「発生を未然に防止する」と修正すべきではないか。	現行の記載で問題ないと考えます。
32	関係者に学生を含めることに違和感がある。第2の「3 学生の支援」の中で記載すべきではないか。	現行の記載で問題ないと考えます。
その他		
33	他大学では、優秀な学生の確保（入学者選抜）に関する中期目標に入っていますが、神戸市看護大学の中期目標には入っていません。追加した方がよいのではないのでしょうか。	具体的な内容は、今後法人が策定する中期計画のなかで検討すべき課題と考えています。
34	入学生の確保のためには、18歳人口の減少が大きな問題になります。そのことについて、中期目標に入れた方がよいのではないのでしょうか。	ご意見を踏まえ、一部修正いたします。

その他の事務局による修正点

- ・表現の追加、整理
- ・送り仮名の訂正
- ・同意語で使用する漢字の統一
- ・句読点の整理